

Hello! FUJISEI

No. 101

わが国の総人口

総人口は前年に比べ 25.9万人の大幅減少

総務省統計局が発表した「人口推計（平成23年10月1日現在）」によると、定住外国人を含むわが国の総人口は1億2779万9千人で、22年10月から23年9月までの1年間に25万9千人（0.20%）の大幅減少でした。

人口の増減は、これまでは増加幅が縮小傾向で推移し、平成17年に戦後初めて前年を下回った後、増減を繰り返してきましたが、23年は大きく減少しました。

日本人人口は1億2618万人で、前年に比べ20万2千人（0.16%）と3年ぶりの減少となり、大きく減少し

ました。

総人口を男女別にみると、男性は6218万4千人（総人口に占める割合48.7%）で、前年に比べ14万4千人（0.23%）減少、女性は6561万5千人（同51.3%）で11万5千人（0.17%）減少で、女性は比較可能な昭和25年以来、初めての減少となっています。

自然増減（出生児数－死亡者数）をみると、出生児数は、第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており、平成23年は107万3千人で前年に比べ1万人の減少でした。一方、死亡者数は、125万3千人で前年に比べ6万5千

人の増加となり、出生児数が死亡者数を18万人下回り、5年連続の自然減少で、減少幅が拡大しています。男女別にみると、男性は7年連続、女性は3年連続の自然減少でした。

元号別では、明治生まれ7万1千人（総人口に占める割合0.1%）、大正生まれ417万8千人（同3.3%）、昭和生まれ9738万8千人（同76.2%）、平成生まれ2616万2千人（同20.5%）となり、平成生まれの人口の割合が初めて2割を超えました。また、戦後生まれの人口は9956万1千人（同77.9%）となりました。

総人口の人口増減数及び人口増減率の推移（昭和25年～平成23年）



注）人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口（期首人口）で除したものとす。